

セッション8：地域研修・校内研修ワークショップ ワークシート

地域研修・校内研修案を考えましょう

3月19日（金）		千葉会場	（ F ）グループ
地域研修・校内研修の概要			
1	目的	生徒を取り巻く携帯・インターネットの現状と課題を知らせるとともに、ネットトラブルへの具体的な対応策についての協議を通して、学校における情報モラル教育の推進にかかわるマネジメント能力の向上を図る。	
2	研修対象者	中学校、および高等学校の新任校長	
3	研修種別	悉皆研修	
4	回数・実施時期 （年間計画）	新任校長研修会の中で、4回（4月、7月、9月、2月）	
5	研修時間	4月、2月 90分 7月、9月 180分	
6	具体的内容	<p>4月 講話「生徒を取り巻くケータイ、インターネットの現状と課題」 大学教授 90分 課題・情報モラル教育推進のための校内組織について ・授業における情報モラル教育についての現状</p> <p>7月 4月の課題をもとにワークショップ（180分） 講義「学校における情報モラルの推進について」（情報教育主幹課長）</p> <p>9月 ケーススタディ「そのとき校長はどう動くべきか」（180分）</p> <p>2月 研修を踏まえて、学校で行った実践報告（ワークショップ）</p>	
7	教材	<p>教育の情報化に関する手引き 「情報モラル」指導実践キックオフガイド</p>	
8	研修形態	講義、ワークショップ	

		分	研修内容・活動	資料等
		5分	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明 講師紹介（県警サイバー犯罪対策室長） 	
		30分	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「ケータイ、インターネットによるトラブルの実態」（県警） 	
		70分	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ「そのとき校長はどう動くべきか」 ○1グループ5人程度（6グループ） ○協議の進め方 ○発表方法の説明 ○事例を3つ示し、1つの事例を2グループずつ学校としての対応方法を検討する。 事例1：学校の爆破予告が掲示板に書き込まれていることが市民から寄せられた。 事例2：特定の生徒についての悪質な誹謗中傷のメールが、複数の生徒に届いた。 事例3：生徒の個人情報が入ったUSBメモリを教員が紛失した。 	
9	1回の展開案 （具体的に記載）	60分	<p>グループすべて発表する （1班10分×6グループ）</p> <p>事例ごとに講評</p>	
		10分	指導講評（県警）	

課題

事例1 「今日の 15 時に学校を爆破する」との予告が掲示板に書き込まれていることが、11 時に市民から電話があった。

想定される対応策

- ・ 証拠保全
- ・ 連絡

本庁（校長）、警察（副校長）

- ・ 具体的な対応

臨時職員会議

状況説明

下校か避難の検討

下校できない生徒への対処

ホームルームへ連絡、状況説明

下校の指示、下校できない生徒は避難所への誘導

マスコミからの問合せ対応（副校長が窓口）

保護者への連絡（一斉送信があれば、それを利用担任。高校生なら生徒自身で連絡）

教員の避難はどうするか。